

平成23年度第3四半期までの緊急発進実施状況について

1 全般

平成23年度第3四半期までの緊急発進回数は、335回であり、前年度と比べて45回増加しました。推定を含みますが、緊急発進回数の対象別の割合は、ロシア機約52%、中国機約43%、台湾機約1%、その他約4%でした。

また、第3四半期のみ緊急発進回数は、132回であり、前年度同時期と比べて28回増加しました。

2 航空方面隊別の状況

平成23年度第3四半期までの航空方面隊別の状況については、北部航空方面隊が123回、中部航空方面隊が32回、西部航空方面隊が30回、南西航空混成団が150回の緊急発進を実施しました。

前年度と比べて、中部航空方面隊の緊急発進回数が減少し、南西航空混成団の緊急発進回数が大幅に増加しました。

3 平成23年度第3四半期までの特徴

中国機に対する緊急発進回数は143回であり、前年度に比べて95回増加しており、第1四半期、第2四半期に引き続き増加傾向で推移しています。

一方、ロシア機に対する緊急発進回数は175回であり、前年度に比べて45回減少しました。

国別の割合としては、上半期までと同様、例年に比べて中国機の割合が大幅に増加しているのが特徴です。

また、第3四半期までに、ロシア機16件と中国機5件の事例について、我が国領空に沿った長距離飛行をするなどしたため、特異な飛行であるとして公表しました。このうち、第3四半期の公表は、ロシア機による長距離飛行の6件でした。

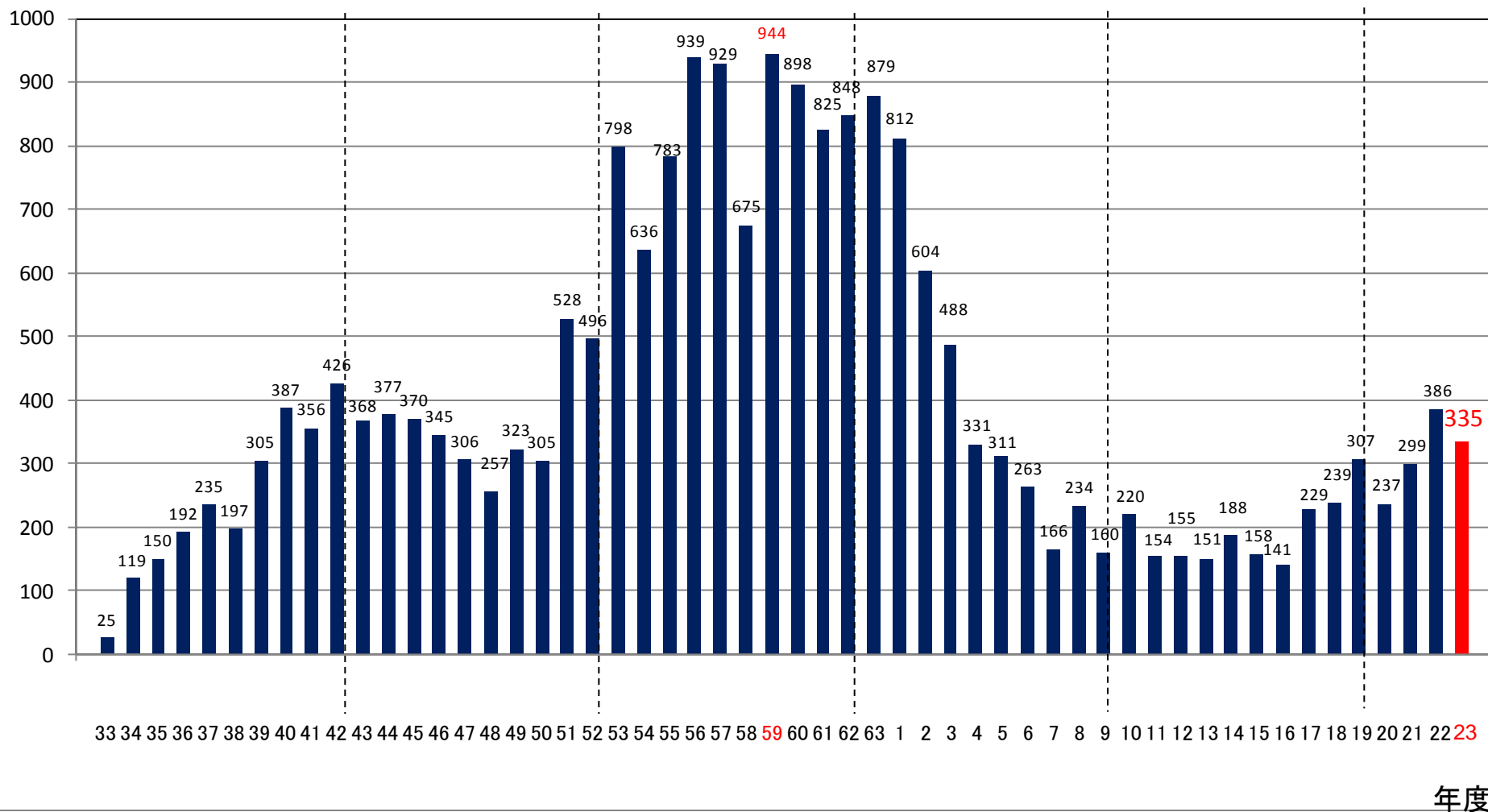
当該期間は、23.4.1～23.12.31です。

- 添付資料：1 年度緊急発進回数の推移
2 航空方面隊別緊急発進回数の推移
3 国・地域別緊急発進回数
4 四半期毎の緊急発進回数の推移
5 緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例

年度緊急発進回数推移

回数

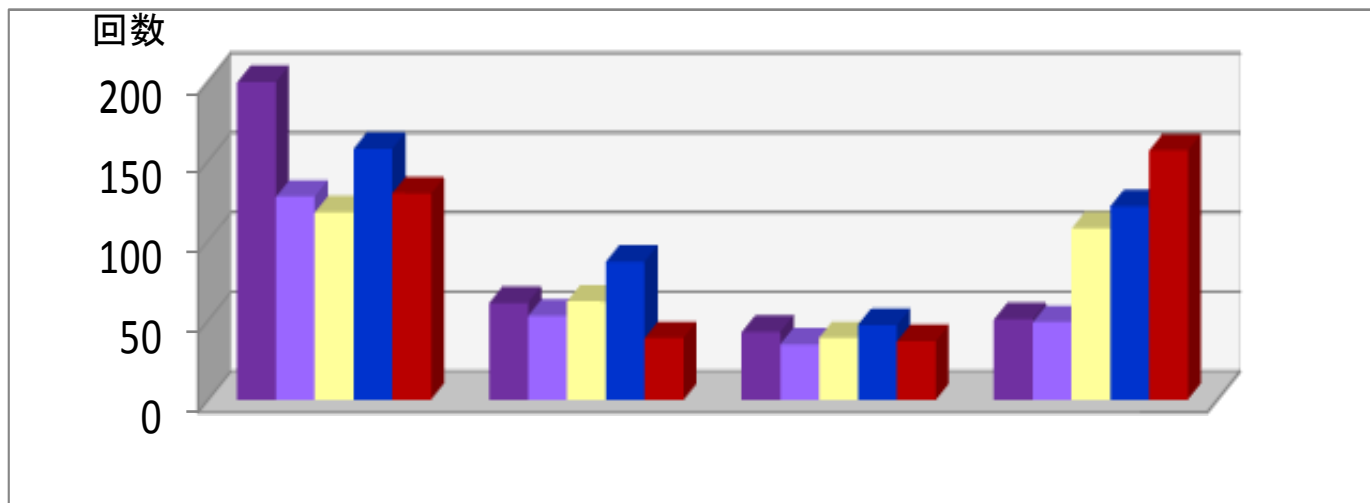
23. 12. 31現在



年度

航空方面隊別緊急発進回数の推移(過去5年間)

23. 12. 31現在



	北空		中空		西空		南混		合計	
■19年度	173	121	54	28	36	25	44	36	307	210
■20年度	121	97	46	29	28	14	42	23	237	163
■21年度	111	85	55	38	32	24	101	66	299	213
■22年度	151	125	80	69	40	31	115	65	386	290
■23年度		123		32		30		150		335

※ 各方面隊の左列は年度、右列は3/四半期まで(4月1日~12月31日)の回数を示す。

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

23. 12. 31現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
19	161	38	3	0	8	210
	253	43	3	0	8	307
20	135	17	5	0	6	163
	193	31	7	0	6	237
21	140	23	18	8	24	213
	197	38	25	8	31	299
22	220	48	5	0	17	290
	264	96	7	0	19	386
23	175	143	5	0	12	335

※ 国・地域は、推定を含む。

※ 上段は3／四半期まで(4月1日～12月31日)、下段は年度1年間の回数を示す。

四半期毎の緊急発進回数推移(23年度)

1 航空方面隊別

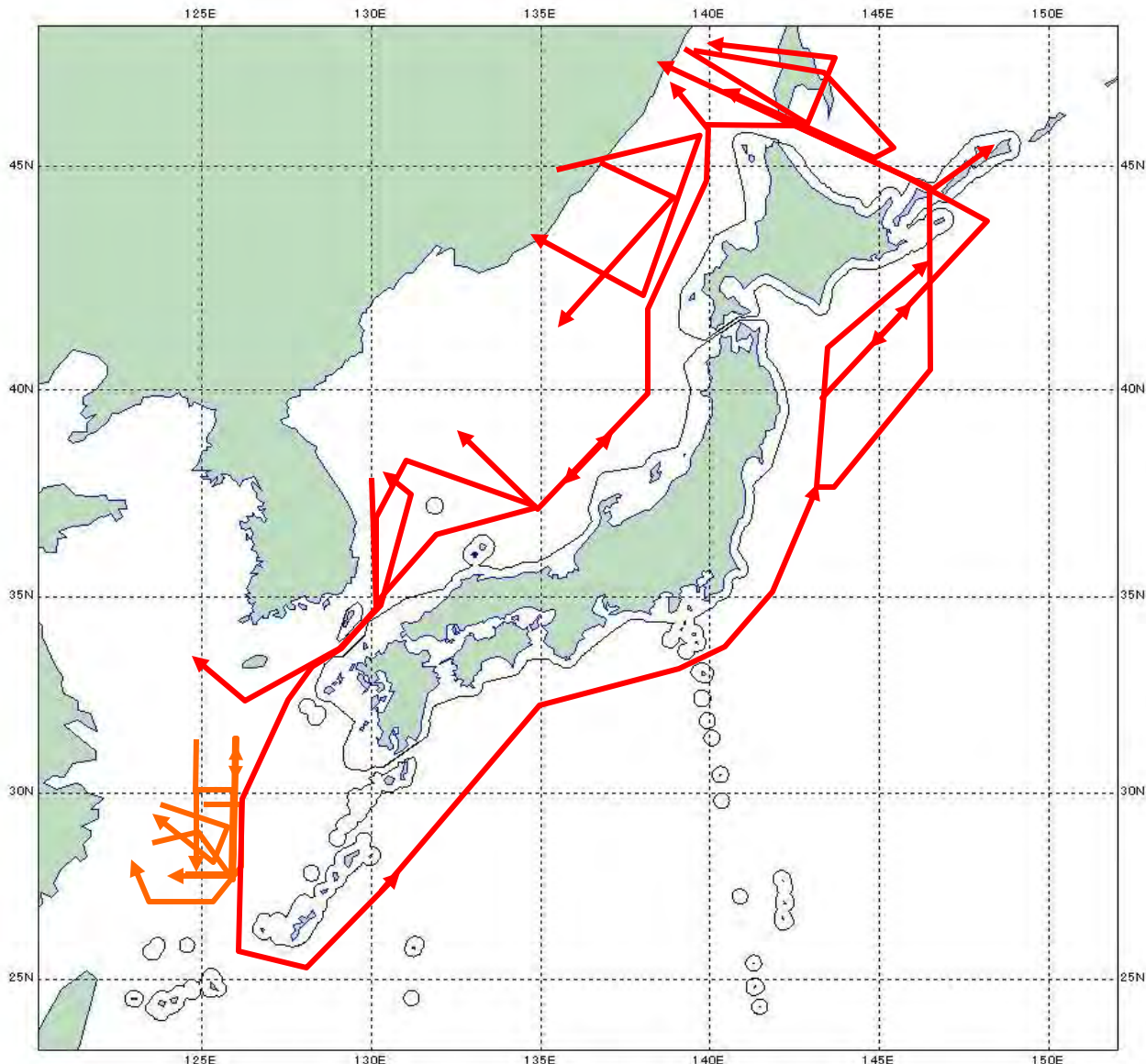
23. 12. 31現在

	北空	中空	西空	南混	合計
1／四半期	20	4	2	32	58
2／四半期	57	16	15	57	145
3／四半期	46	12	13	61	132
合計	123	32	30	150	335

2 国・地域別

	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
1／四半期	24	27	2	0	5	58
2／四半期	82	56	2	0	5	145
3／四半期	69	60	1	0	2	132
合計	175	143	5	0	12	335

緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例



→ : 中国機の経路

→ : ロシア機の経路